

令和6年度 水道事業会計 決算概要

知ってほしい！

- ※ 本資料における計算式は、
杵築市数値が0のものを省略しています。
- ※ 本資料は原則1万円未満を四捨五入していますので、
資料数値による計算結果と記載数値にずれが生じる場合があります。

水道事業は、必要な費用を税金ではなく、水道利用者の皆様からいただいた水道料金で賄う**独立採算制**です。

会計も一般的な行政経費を扱う一般会計から独立して**水道事業会計**として経理を行っており、地方公営企業法に基づき収益的収支と資本的収支に分かれています。

収益的収支

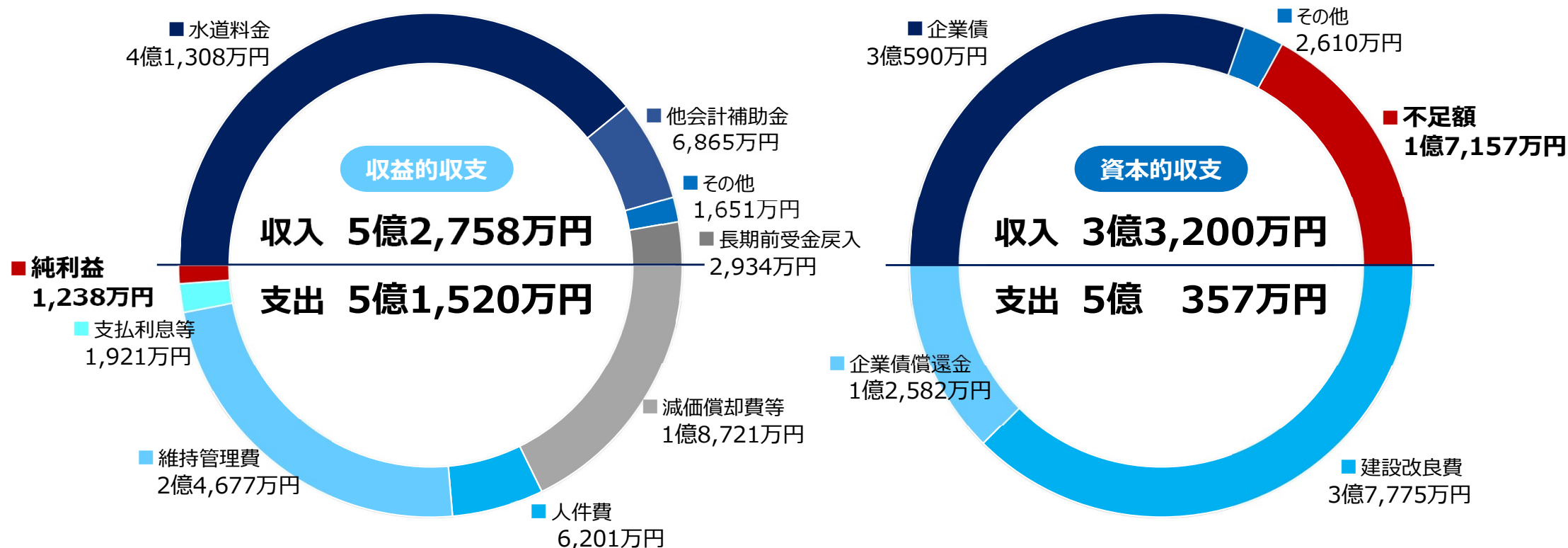
とは、日々の水道事業を運営するための取引のことで、収入には水道料金、支出には人件費、動力費（電気代）、維持管理費、企業債の支払利息などがあげられます。

資本的収支

とは、浄水場や水道管の更新など持続的な資産を取得するための取引のことで、収入には企業債（借金）、支出には工事請負費や償還金（借金の返済）などがあげられます。

収益的収支で得た利益を資金として水道施設の整備を行っていくことが水道事業経営の基本的なしくみです。





収益的収支は、収入が支出を1,238万円上回っている（純利益）ため、**黒字決算** となっていますが、純利益率は2.3%と非常に低くなっています。

資本的収支では、支出が収入を上回っており、1億7,157万円の**不足額**が生じています。

不足額は、収益的収支で発生する損益勘定留保資金（現年度分は減価償却費等から長期前受金戻入を差し引いた1億5,787万円）で補っていますが、純利益が少ないことから、将来の施設更新費用（留保資金）が十分に確保できない状態です。

今後も続く人口減少に伴う給水量低下、物価高騰による維持管理費増、老朽管の増加状況を考えると厳しい経営状況といえます。

水道料金

(給水収益)

4億**1,308**万円

前年▲118万円
(▲0.3%)

営業利益

▲**7,583**万円

前年度比▲493万円
(▲6.9%)

= 営業収益 - 営業費用

営業利益とは本業によって得た利益のことです。
営業収益の約98%を占める水道料金のみで水道事業の運営が行えていないことが分かります。

経常利益

1,247万円

前年度比▲1,093万円
(▲46.8%)

= 経常収益 - 経常費用

経常利益とは営業利益に営業外利益を加えたものです。主に他会計補助金(収入)の影響によりプラスに転じています。

純利益

1,238万円

前年度比▲301万円
(▲19.6%)

= 総収益 - 総費用

純利益とは最終的な利益で、経常利益に特別利益、特別損失の影響を加味したものです。
R6は大きな特別損益はなかったため、経常利益とほぼ同値となっています。

経常収支
比率
102.4 %

経常収益
経常費用 × 100

経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、高いほうが良い指標です。
経常収益の減少により、前年度から2.2ポイント悪化しました。
(参考) R5類似団体平均106.0%

有収水量 ※1

221 万m³
前年▲27,223m³
(▲1.2%)

供給単価

186.74 円/m³
前年度比+1.75円/m³
(+1.0%)

= $\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$

水道水1m³あたりの平均販売価格です。
料金改定を行っていないため、
ほぼ横ばいとなっています。

給水原価

219.60 円/m³
前年度比+2.17円/m³
(+1.0%)

= $\frac{\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入}}{\text{有収水量}}$

水道水を1m³作るのに必要な
経費です。有収水量の減少に
より若干上昇しました。
(参考) R5類似団体平均189.43円/m³

資本費

76.35 円/m³
前年度比▲1.84円/m³
(▲2.4%)

= $\frac{\text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入} + \text{企業債利息}}{\text{有収水量}}$ ※2

水道水1m³あたりの
水道施設の整備・更新にかかった経費です。
給水原価の約35%を占めています。

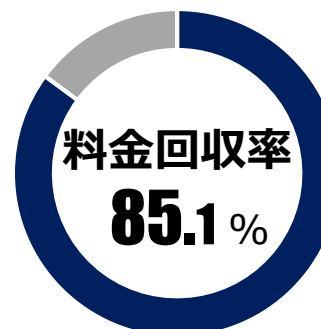
※1 水道料金の対象となった水量です。

※2 減価償却費

固定資産の取得費用を耐用年数に応じて分割し、
毎期の費用として均等に計上するものです。

長期前受金戻入

固定資産の取得の際に得た
財源（補助金等）を耐用年数に応じて分割し、
毎期の収益として均等に計上するものです。



供給単価

給水原価

× 100

100%以上であることが望ましく、
100%を下回っている場合は、給水に係る費用が
給水収益では賄いきれていないことを意味するため、
高いほうが良い指標です。前年度と変動はありません。
R11において現状維持の85.1%を目標としています。
(杵築市第3次総合計画)
(参考) R5類似団体平均92.8%

杵築浄水場更新工事（R5繰越）

沈殿池の耐震化工事を実施



事業費	56,828,600 円
企業債	49,400,000 円
出資金	7,400,000 円
自主財源	28,600 円

杵築浄水場（建築・機械・電気設備）更新工事

中央制御棟の更新を実施中



事業費	144,337,600 円
企業債	144,300,000 円
自主財源	37,600 円

中平久保畑線 配水管布設替工事

耐用年数を超えた配水管等を更新



事業費	24,942,500 円
企業債	22,800,000 円
負担金	801,900 円
自主財源	1,340,600 円

下切配水池 仮設送水管布設工事

台風10号で被災した
山香町久木野尾地区に仮設送水管を設置



事業費	1,067,000 円
補助金	836,000 円
企業債	200,000 円
自主財源	31,000 円

貸借対照表とは、年度末時点に所有しているすべての資産、負債及び資本を示す報告書です。

右側の負債、資本では、**お金の集め方**（どうやって資金を確保したか）が分かり、

左側の資産では、**お金の使い方**（どのような状態でどのくらいあるか）が分かります。

※1 未完成の固定資産（建物など）の現在までにかかっている費用です。

※2 資産取得時に得た財源（補助金等）で、返す必要がないお金です。

0.26% 総資産利益率

$$= \frac{\text{純利益}}{\text{資産}} \times 100$$

一般的企業であれば5%以上が優良とされる高いほうが良い指標です。
利益に対して資産が多すぎるため、施設更新が厳しい状況にあることが分かります。
また、資産に対して利益が小さすぎるため設備投資の効率が悪いとも言えます。

49.9% 有形固定資産減価償却率

$$= \frac{\text{B}}{\text{A}} \text{ (右図)} \times 100$$

老朽化の進み具合が分かる、低いほうが良い指標です。
(参考) R5類似団体平均52.7%

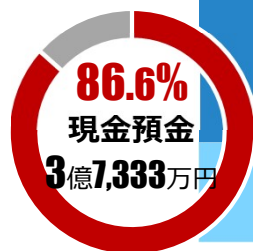
247.7% 流動比率

$$= \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

1年以内に支払わなければならないお金（流動負債）をすぐ支払えるかどうか分かる高いほうが良い指標です。
未払金の解消により40.9ポイント改善しました。
(参考) R5類似団体平均338.9%

現金預金

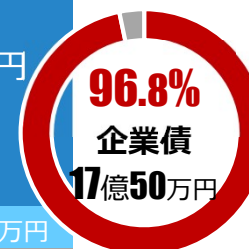
流動資産の86.6%を占める現金預金は未払金の解消の影響等により、前年度と比べ約2,200万円減少しました。



資産 47億5,743万円 負債 23億8,828万円

令和7年3月31日	
固定資産 43億2,627万円	固定負債 15億8,319万円
うち 有形固定資産(土地以外)A 74億350万円	流動負債 1億7,409万円
減価償却累計額B [▲] 36億9,470万円	繰延収益 ※2 6億3,100万円
建設仮勘定 ※1 4億3,551万円	資本 23億6,915万円
有形固定資産(土地) 1億6,019万円	うち 資本金 24億3,769万円
無形固定資産 2,177万円	当年度末処理欠損金 [▲] 6,854万円
流動資産 4億3,116万円	

企業債（借金）



固定負債と流動負債の96.8%を占める企業債は、浄水場の更新等の影響から借入額>償還額の状況となり、前年度と比べ約1.8億円増加しました。

411.7% 企業債残高対給水収益比率

$$= \frac{\text{企業債}}{\text{給水収益}} \times 100$$

借金の規模が分かる、低いほうが良い指標です。
企業債の増加に伴い44.7ポイント悪化しました。
水道料金約4年分の借金があるということです。
(参考) R5類似団体平均400.2%

16.2% 累積欠損金比率

$$= \frac{\text{当年度末処理欠損金}}{\text{営業収益}} \times 100$$

損失の規模が分かる、低いほうが良い指標です。
R3に発生した欠損金が、前年度に比べ1,238万円（R6純利益）減少したため、累積欠損金比率も2.8ポイント改善しました。
(参考) R5類似団体平均9.6%

貸借対照表とは、年度末時点に所有しているすべての資産、負債及び資本を示す報告書です。
右側の負債、資本では、**お金の集め方（どうやって資金を確保したか）**が分かり、
左側の資産では、**お金の使い方（どのような状態でどのくらいあるか）**が分かります。

※1 資産取得時に得た財源（補助金等）で、返す必要がないお金です。
※2 杵築市において数値が0のものは計算式から省略しています。

0.26% 総資産利益率

$$= \frac{\text{純利益}}{\text{資産}} \times 100$$

一般的企業であれば5%以上が優良とされる高いほうが良い指標です。
利益に対して資産が多すぎるため、施設更新が厳しい状況にあることが分かります。
また、資産に対して利益が小さすぎるため設備投資の効率が悪いとも言えます。

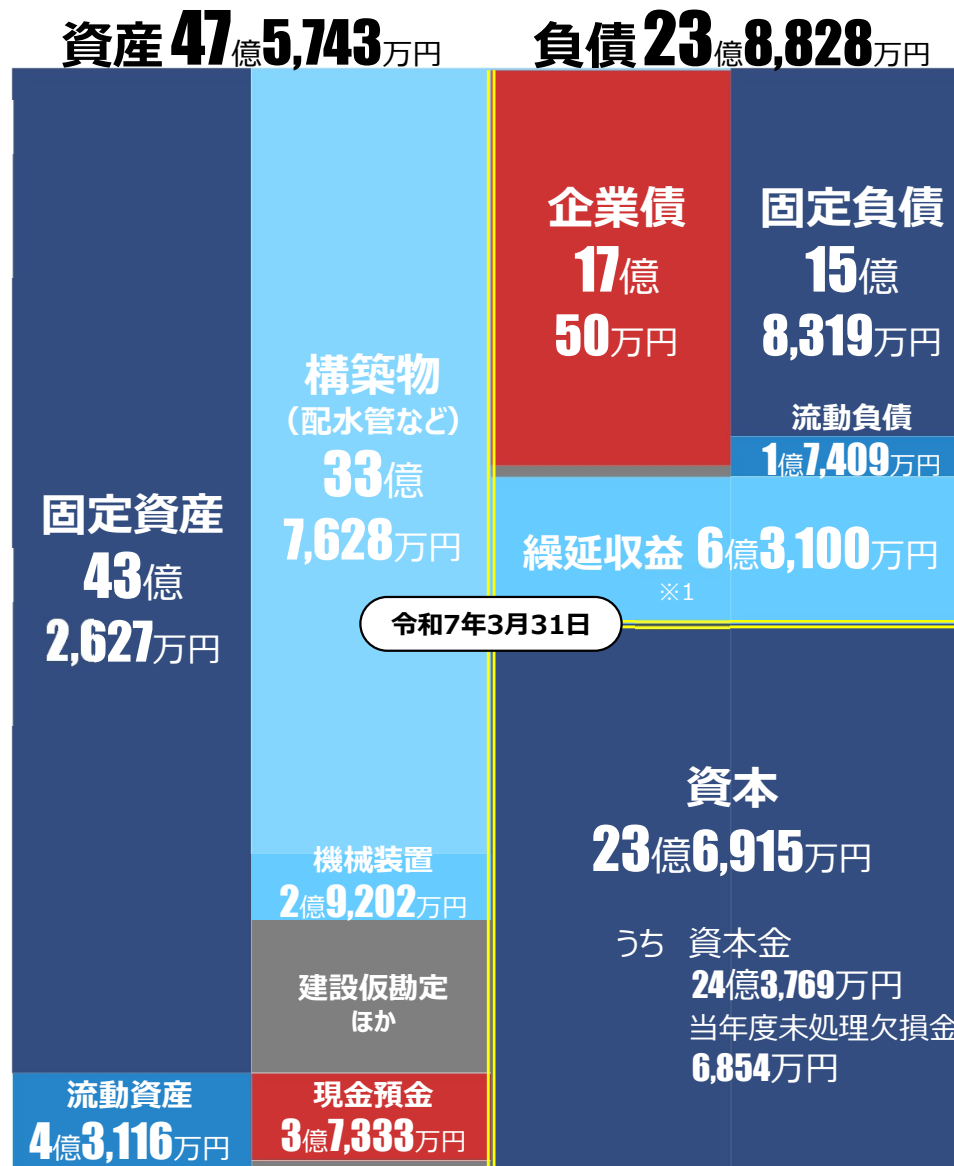
247.7% 流動比率

$$= \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

1年以内に支払わなければならないお金（流動負債）をすぐ支払えるかどうか分かる高いほうが良い指標です。
未払金の解消により40.9ポイント改善しました。
（参考）R5類似団体平均338.9%

現金預金

流動資産の約87%を占める現金預金は未払金の解消の影響等により、前年度と比べ約2,200万円減少しました。



企業債（借金）

負債の約71%を占める企業債は浄水場の更新等の影響から借入額＞償還額の状況となり、前年度と比べ約1.8億円増加しました。

411.7% 企業債残高対給水収益比率

$$= \frac{\text{企業債}}{\text{給水収益}} \times 100$$

借金の規模が分かる、低いほうが良い指標です。
企業債の増加に伴い44.7ポイント悪化しました。
給水収益約4年分の借金があるということです。
（参考）R5類似団体平均400.2%

16.2% 累積欠損金比率 ※2

$$= \frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}} \times 100$$

損失の規模が分かる、低いほうが良い指標です。
R3に発生した欠損金が、前年度に比べ1,238万円（R6純利益）減少したため、累積欠損金比率も2.8ポイント改善しました。
（参考）R5類似団体平均9.6%